

とういん

議会だより

129号



有効に使われたが
私たちの税金 2

・町政を問う

9

・委員会・議会活動レポート 20

平成28年10月21日

9月定例会

発行 三重県東員町議会

づくりに使いました

9月定例議会



着工前



着工後

道路新設改良工事
7276万4690円

有効に使われたか
私たちの税金

平成27年度一般会計決算を12対1で認定しました

9月定例会は、9月1日から21日までの会期で開かれました。

平成27年度決算、平成28年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例制定、人権擁護委員候補者の推薦、教育長の任命のほか、請願や意見書など、議案11件と認定6件、請願1件が提出されました。

全会一致、一部賛成多数で認定・可決しました。

平成27年度一般会計決算額は、歳入総額84億4068万8346円で、歳出総額は79億5476万5367円でした。歳入歳出差し引き額は、4億8592万2979円となり、前年度と比較すると約2億3000万円の減額となりました。

主な質疑

問（島田委員）工事入札など、地元事業者の入札状況を伺います。

答（総務課長補佐）町内企業は工事で47件中、37件で、物件は70件中、23件です。

安全安心のまち



防犯事業
2625万6228円



小・中学校体育館照明器具耐震改修工事
1835万7840円



新消防指令センター整備事業
6528万円

- 問**（大崎委員） 子ども子育て支援システムが導入されましたが、延長保育は何人でしたか。
- 答**（学校教育課長） 年間422人でした。
- 問**（大崎委員） NPO法人の生ごみ堆肥化の参加実績を伺います。
- 答**（環境防災課長） 平成27年度末で306世帯が参加しました。
- 問**（川瀬委員） 高齢者の家具転倒防止対策の対象世帯はどれくらいありましたか。
- 答**（環境防災課主査） 対象は1993世帯です。工事の施工率は約9%でした。
- 問**（片松委員） 敬老事業は地域格差があり、補助金の使い方を検討してはどうですか。
- 答**（長寿福祉課長補佐） 地域の実情に合わせた行事に対し、補助を出す事業としていきます。この事業は5年経過するので、取り組み事例を紹介するなど検討します。

- 問**（大崎委員） 法制執務支援委託料の増額の理由を伺います。
- 答**（総務課長補佐） 特別にマイナンバー制度導入関係の例規整備、行政不服審査法改正に伴う例規改正があり、増額になりました。

- 問**（鷺田委員） プラネタリウム改修工事で、撤去した機器はどうなりましたか。
- 答**（社会教育課長） 改修請負事業者に処分費を含めて適切に処理をしました。

反対討論（大崎議員）

マイナンバー制度は、暮らしが便利になることばかりが強調され、住民のプライバシー保護の姿勢とかけ離れていると思います。公民館講座が有料化され、受講生が減りました。多くの町民が参加できる講座開設を進めるべきです。耕作放棄地対策の喜び農業、農福連携事業は、掛け声だけでなく生産物の販路を明確にして取り組むことを求め反対とします。

平成27年度特別会計・企業会計決算の状況は

<p>国民健康保険</p>	<p>予算現額32億1069万6千円で、収入済額は、前年度(30億4875万2千円)比較し、9.8%増の33億4621万3千円でした。支出済額も前年度(29億6818万2千円)と比較すると、5.3%増の31億2627万8千円となりました。賛成多数で可決しました。</p>
<p>後期高齢者医療</p>	<p>予算現額2億2993万1千円で、収入済額は、前年度(2億1561万4千円)と比較し、5.8%増の2億2802万4千円でした。支出済額も前年度(2億1475万2千円)と比較すると、5.9%増の2億2747万円となりました。賛成多数で可決しました。</p>
<p>介護保険</p>	<p>予算現額17億2797万4千円で、収入済額は、前年度(15億9544万6千円)と比較し、0.8%増の16億807万円でした。支出済額も前年度(14億2492万1千円)と比較すると、4.4%増の14億8772万5千円となりました。賛成多数で可決しました。</p>
<p>下水道事業</p>	<p>収入は前年度に比べ5.4%減の8億6976万円、支出は前年度より4.8%減の8億1354万6千円で実質収支額は5621万4千円の黒字となりました。全会一致で可決しました。</p>
<p>上水道事業</p>	<p>給水状況は、年間配水量314万1793立方メートルで、年間有収率は、90.5%になります。収益的収支決算では純利益3110万3928円の黒字となりました。全会一致で可決しました。</p>

国民健康保険

問 (川瀬委員) シェネリック医薬品を推奨・促進していく中で、医療費の高額な方の医療費抑制はどのようにしていますか。

答 (保険年金課長) 医療費通知やシェネリック差額数値などを通知することで、抑制に取り組んでいます。

反対討論 (大崎議員)

生活困窮者が多くなり、収入未済額は前年度より増えています。一般会計からの繰り出し金を増やし、払える国保料にすべきであることから反対します。

賛成討論 (石垣議員)

医療費の抑制と適正化を図る事業が適正に行われています。また、予防や治療の両面からの健康支援にも努めていることから賛成します。

介護保険

問 (石垣委員) 二次予防対象者数が前年度より170人以上の増となっています。1年で10%以上も大幅に伸びた原因は何ですか。

答 (長寿福祉課長) 国が示すチェックリストに、町独自で認知症の項目を追加したのが影響しています。

反対討論 (大崎議員)

普通徴収の収入未済額が増えています。保険料・利用料の減免制度が必要です。また、年金収入が280万円以上の方は利用料が2割となり、負担増になりましたので反対します。

賛成討論 (石垣議員)

介護が必要な方を、社会全体で支えるための事業が適正に行われています。また、介護予防事業を行い、自立生活の助成、心身機能の維持向上にも努めていることから賛成します。

総額は79億2862万5000円

1900万8000円の増額

一般会計
補正予算



保健福祉センター設計管理委託 245万7千円

発達支援事業に使用する療育室などの整備と、検診室などの改修工事のための設計委託です。



熊本地震の被災地支援 98万6千円

被災地支援のため、次の支援要請を迅速に対応できるよう2回目の被災地支援業務に備える費用経費です。



コミュニティバス修繕費 210万円

バス利用者の安全・快適性を確保するための修繕費用です。



道路路側整備工事 1086万円

危険箇所の路側整備と道路の破損箇所補修費用です。(六把野新田変電所西)

健康づくり調査研究費(79万円)など
全員賛成で可決

特別会計 補正予算

介護保険

総額16億6503万2千円とし、補正額を426万8千円の減額補正となりました。

介護予防事業経費や地域包括ケア推進会議経費、高齢者施策事業にかかる費用などで増額になりましたが、人件費の精査で減額となりました。

主な質疑

問 (驚田委員) 高齢者施策事業で、重錘バンドの利用方法を伺います。

答 (長寿福祉課長) 筋力運動である「いきいき百歳体操」を普及するために利用します。

継続的に利用するようには貸し出す予定です。



重錘バンド

条例

東員町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正

社会保障・税番号制度が施行されて個人番号カード交付により、利便性の向上を図るため、住民票の写しや印鑑登録証明書を全国の主要コンビニエンスストアで交付ができるサービスの実施を行うものです。

主な質疑

問 (驚田委員) コンビニ交付の利用料金、手数料はどのようですか。

答 (町民課長) 住民票交付手数料は、窓口交付と同じ300円です。その中から123円がコンビニ事業者への手数料となり、差し引いた金額が町へ振り込まれます。

年間委託料として100万円かかり、国の機構へ支出となります。

反対討論 (大崎議員)

年間100万円の委託料を機構へ毎年支払います。費用対効果を考えると賛成できません。また、カードを持ち歩く方が、紛失や盗難などのリスクを高めますので反対します。

賛成討論 (石垣議員)

コンビニエンスストアが設置する多機能端末機から、印鑑登録証明書などの発行を行うものです。利便性や住民サービスの向上につながると思いますので賛成します。

町に意見書を提出しました

東員 I・C 周辺地域開発に係る意見書

請願が長深自治会、南大社自治会、中上自治会の各自治会長、員弁川用水第二土地改良区理事長から提出され、全会一致で採択し意見書を提出しました。

東員インターチェンジが平成 28 年 8 月に開通しました。東員インターチェンジの開設は、町内外における人や物の交流を活性化させ、インターチェンジ周辺は商業機能、流通業務機能を核とした複合地域整備として大きく期待をされます。

東員インターチェンジ周辺地域の開発推進を要望する意見書です。



監査委員の決算審査意見

- ◎平成27年度の一般会計における決算額は、歳入84億4068万8千円、歳出79億5476万5千円で、前年度と比較すると歳入で0.2%の減額、歳出で2.7%の増額の決算となり、予算現額82億2129万9千円に対する執行率は、歳入で102.7%、歳出で96.8%となった。
- ◎財政力を評価する財政力指数は、0.795で前年度より0.039ポイントの増となった。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は85.1%で前年度より4.2ポイントの増となり、財政構造の硬直化が進む結果となった。
- ◎公債費の一般財源に占める割合を示す実質公債費比率は、4.6%で前年度より0.8ポイント低くなっており、警戒ラインである15%を大きく下回り良好な状態である。
- ◎益々高齢化が顕著な本町においては、今後増加が見込まれる社会保障関係経費の抑制に効果的な施策の推進を図られ、時代のニーズを適切に把握・分析し、町民の理解と協力を得ながら、より効果的・効率的な事務事業の執行に努められたい。町民が安全で安心して暮らせる施策事業を計画的に推進し、将来にわたって持続可能な町づくりを望む。

(監査の意見書から抜粋)

各議員の賛否

議案の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

平成 28 年第 4 回(9 月)定例会

審議結果	議案名	議員名															
		大谷勝治	片松雅弘	三林浩	石垣智矢	山崎まゆみ	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	水谷喜和	鷲田昭男	川瀬孝代	三宅耕三	山本陽一郎	大崎潤子		
可	東員町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	平成 27 年度東員町一般会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	平成 27 年度東員町国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	平成 27 年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	平成 27 年度東員町介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長（－）は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。

傍聴者の声

9月6日、7日にシニアカレッジの皆さんが9月定例会一般質問を傍聴されました。

たくさん感想を寄せていただきました。（一部を掲載します）

● 初めて議会を傍聴しました。今まで何も関心を持たずにきた町政ですが、様々な問題や課題を抱えているという事に気付かされたいい機会となりました。暮らしやすい町にするには、住民が関心を持って町民懇談会等に出席して意見を述べる等の行動が大切だと感じ、実行していきだと思いました。

● 火事でサイレンを鳴らさないとの事で、火事現場近くの家及び家族が、隣で火事が起きていてもわからない事が大きい。惨事になるのではないか。不安を感じる。

※内容は原文のまま掲載しました。

ありがとうございました。

一般質問

町政を問う

1. 水谷 喜和10	1. 町有地の雑草対策は 2. コンプライアンス（法令順守）について
2. 石垣 智矢11	1. 町政懇談会について 2. 陸上競技場芝グラウンドの利用について
3. 川瀬 孝代12	1. チーム学校について 2. 成年後見制度について
4. 三林 浩13	1. 危機管理の向上について 2. 歩道整備について
5. 片松 雅弘14	1. 桑名広域清掃事業組合ごみ処理施設の建設について 2. 笹尾東学童保育について 3. 今後の展望について
6. 大谷 勝治15	1. 高齢者対策について 2. 環境保全対策について
7. 南部 豊16	1. 町づくり政策と将来展望について 2. 本町における農業政策について
8. 山崎まゆみ17	1. 小中学校適正規模適正配置について 2. 「みんなと一歩ずつ未来に向かっていく東員町子どもの権利条例」施行後の子どもをめぐる状況について
9. 大崎 潤子18	1. 水道問題について 2. 決算について 3. 介護保険について 4. ごみ問題について
10. 山本陽一郎19	1. 行政について

一般質問とは、町政全般について、町長の考えや意見を求め、事情をただしたり、議員や住民の意見などを述べることをいい、定例会のみ行われます。

今定例会では、10人の議員が質しました。

原稿は質問者が作成したものを掲載しています。

水谷喜和



新しい雑草対策は 調査研究をします

問

町道・町管理河川などの雑草対策はどのように行われていますか。その対策の課題は何ですか。町の美化・景観および防災などの観点からの対策はどのように考えられていますか。

答

今後「新しい雑草対策」で、緑を生かした暮らしよいまちづくりを進める考えを伺います。

町長 町道・河川など来地区12自治会と「町道等草刈り業務委託」を締結し、路肩や法面の草刈りを春秋、年2回実施しています。それ以外に、夏場対応として職員などで草刈り作業を実施しているのが現状です。

年間を通しての対策は難しく、町の美化・景観を損ねていることは承知しています。そのような状況でも防災上危険な箇所は、優先的に追加の草刈りをしてい

ます。

新しい雑草対策は、施工規模が相当な面積になるため、財政面、維持費の比較など調査研究をしたいと考えています。

建設部長 町道の維持管理は町内全域で702路線、総延長約230kmと広範囲で、膨大な面積の路肩や法面になります。業務委託は、全体の2割ほどで、延長43・6kmで面積約16万㎡を実施しています。

また、笹尾・城山地内の高圧線下緑地の雑草対策は、業者委託および自治会への委託で年3回の除草作業を実施しています。

農道は、地元農家組合と自治会や「多面的機能支払交付金」の活動組織などで実施しています。

答

建設部長 笹尾・城山地内の緑地面積は8万7000㎡で1964万円です。内訳は、業者委託1630万円、シルバー人材72万円、笹尾東一丁目自治会205万円、笹尾東二丁目自治会56万円です。在来12自治会は町道部分で約623万円です。

新しい雑草対策とは「雑草より強い雑草」と言われるセンチピートグラス(洋芝の一種)の改良種ティフ・プレミアの吹き付け工法・植栽による雑草抑制対策のことを言います。

対策前



対策後



問

除草委託面積と契約額を伺います。

再質問(一問一答)

石垣 智矢



子どもたちに芝グラウンドを

教育委員会で検討します

問

陸上競技場芝グラウンドの使用料は、1日の利用で5万円と高額です。陸上競技場芝グラウンドの利用について伺います。

①利用状況はどのようなか。
②陸上競技場芝グラウンドの使用料が、他市町に比べて高額なのはなぜですか。

答

教育委員会事務局長
①昨年度の芝グラウンドの利用は32回です。

②第3種公認の陸上競技場なので、大規模な大会運営や、受益と負担の公平性の確保から、妥当な使用料と考えています。

再質問（一問一答）

問

子どもたちが利用しやすい環境作りが大切であると考えます。子どもたちが芝グラウンドを使いやすくできるように、中学生以下は半額などの使用料にできませんか。

答

町長 今後も第3種公認陸上競技場として維持していくのかを、町民の皆さんと議論していきたいと考えています。

教育長 子どもたちの体力向上は大切な視点であり、減免制度も行っていきます。

子どもたちの利用や使用料について、今後も教育委員会で検討していきたいと考えています。

町政懇談会は

問

6月と7月に各自治会で行われた町政懇談会は、昨年と比べてどのようでしたか。

また、今後も町政懇談会を開催する予定はありますか。

答

町長 参加者は617人で、昨年と比べて減少しています。女性の参加者は少し増えましたが、若者の参加は昨年同様にして多くありませんでした。



芝生広場で遊ぶ子どもたち

課題の洗い出しが必要と考えています。

今後も開催する方向で考えていますが、方法や開催の有効性を、町民の皆さんの意見を聞きながら検討していきます。

チーム学校は 取り組みを進めます



川瀬孝代

問

社会や経済の変化で学校が抱える課題が、いじめ、不登校など複雑化・多様化している中で、貧困問題、保護者からの要望対応など学校の役割が拡大し、解決できない問題が増大しています。その中で、チーム学校は教職員の負担軽減や質の高い教育を目指す、体制づくりをしていくものです。

学校を地域に開く、教員と専門スタッフがチームを組んで対応するチーム学校への取り組み、考えを伺います。

答

教育長 学校のためだけでなく、教育委員会、児童相談所、発達支援室、警察など関係部局と連携し、スクールカウンセラーなどの支援が不可欠です。^{*}QU調査、学校満足度調査で、実態把握や授業改善につなげるよう対策しています。

教員へのサポートチームとして、指導主事を中心に

学校と教育委員会が連携し、必要に応じてスクールソーシャルワーカーや弁護士など活用し、相談しやすい体制を確保していきます。

人事評価制度では、業務改善や意識向上につなげています。超過勤務時間の課題には、専門スタッフを含め教職員増を進めない限り解消できないと認識しています。個に応じた教育を進めていく必要があり、非常勤・A・L・T・学習支援員・図書館専門員の配置をしています。

16年一貫教育プラン子育ての手引き版を作成し、保護者との協働に取り組んでいます。学校長のリーダーシップのもと、職場づくり、開かれた学校づくりを進め、保護者や地域の協力をいただきチーム学校を進めていきます。

^{*}QU調査とは「楽しい学校生活を送るためのアンケート」の略

成年後見制度は

問

高齢化で、成年後見制度の重要性が高まっています。制度の利用促進法では、人材確保・審議会設置・計画・周知啓発など必要な措置を講ずるとあります。その取り組みを伺います。

答

福祉部長 制度に関する相談を受け、パンフレットを配布し、講演会など開催して周知に努めています。社会福祉協議会と連携し、理解と知識の普及啓発を図りネットワークづくりに取り組めます。



三
林
浩



火災時のサイレン吹鳴はすいめい廃止します

問

危機管理向上について、次の2点を伺います。

①火災時の東員消防署と東員町消防団および自警消防団との役割分担は、どうなっていますか。

②火災時にサイレンを鳴らさなくしたと聞きました。が、そこに至った経緯と理由は何ですか。

廃止します

由は何ですか。

答

生活部長 ①火災時の消火活動は、消防署の指揮下で消防団員が後方支援を行います。

消火活動後、消防署職員は次の火災に備えて消防署に戻るため、消防団が残火処理などの任務にあたりません。

また、自警消防団は消防団から引き続き残火処理や再燃防止のための監視を行っています。

②消防団への非常招集としての役割を担っていました。が、新たな伝達手段として、消防指令センターから消防団役員が所有する携帯電話に直接音声で伝達する「順

次指令」と全消防団員へメールを送信します。

同時に火災現場の詳細地図を添付できるシステムが普及したことから、本年11月から火災時にはサイレンの吹鳴を廃止することにしました。

再質問（一問一答）

問

消防団員へメールを送信することですが、気が付かなくなり、出動員数が減少し、消防車の出動時間が遅くなりませんか。

サイレン吹鳴を廃止することを、東員町消防団員の意見を聞いて、元に戻すことはできませんか。

答

生活部長 火災時のメール着信音を変え

たり、団員の勤務先に協力してもらい、勤務先にもメールを送信して、団員に伝達するようにお願いしていきます。

また、消防訓練の中にメ

ールのやり取りを行うように考えていきたいと思えます。

サイレン吹鳴を復活することは考えていません。



学校敷地内に学童保育所を 計画的に整備します



片松雅弘

問

笹尾東地区の学童保育の場所は、小学校から幹線道路を横断し、離れた旧笹尾第二保育園舎にあります。

交通安全などの観点から他の小学校区のように、小学校の敷地内に開設できませんか。

横断する幹線道路は6月の一般質問でも指摘をしました歩車分離式交差点です。一般の歩行者も車の通行も分かりづらいので非常に危険です。子どもたちも含め、歩行者が速やかに渡れるようにスクランブル横断歩道に変更し、安全確保と共に分かりやすくする必要があります。移動の安全性、送迎時の車の混雑や旧園舎が築30年以上経過し、老朽化も進んでいることも含め、笹尾東地区の学童保育所は、笹尾東小学校敷地内に早急に計画し、移動すべきと考えます。

答

福祉部長 本町では学校終了後の留守家庭の児童に対して、安全で安心な居場所づくりを確保するため、学校区ごとに学童保育所を設置しています。これまで緊急性の高い地区から順次整備をしてきました。

笹尾東地区は、指摘のとおり幹線道路を横断しなければならぬことは十分認識しています。また、旧園舎を利用しており建築後30年以上経過し、老朽化も心配されます。

今後、施設の老朽化や建設用地の問題など、建設時期を見極めながら計画的に整備していきたいと考えています。

ごみ処理施設建設は

問

RDF焼却・発電事業が平成32年度末で終了することに伴い、新しいごみ処理施設の建設工事はいつ頃から始め、最終工期はいつまでですか。

答

生活部長 新施設の処理方式、施設規模がすでに決定しました。来春には組合議会の決議を経て事業者との契約、実施計画、工事へと進む予定です。

工事は平成30年の夏ごろから約2年間の予定です。



古くなった旧園舎

大谷 勝治



環境保全対策は

生活環境の向上を図ります

問

環境保全対策を伺います。

①ネオポリス外周緑地と隣接する町所有地の今後の利用と管理や安全対策はどのようなのですか。

②最終処分場の今後の管理はどうなりますか。

③住民にとって最も重要な水道資源の保全に関して、

上流地域との交流、地域住民に向けてのPR活動はどうしますか。

答

生活部長

①外周緑

地は環境保全、公害

の緩和、景観の向上などを目的とした約7kmに及ぶ公共空間です。今年度、笹尾西四丁目の最終処分場と面する緑地の整備を交付金の活用で行う予定です。

次に城山三丁目東側緑地の整備を「企業の森制度」を活用して行っています。今後は地元の参加もいただきながら、大型車両の通行する東側道路の安全対策も含め、維持管理に努めます。

また、この緑地の一部は危険性が高く法面保護と併

せ路側整備に係る補正予算を今回計上しています。今後も生活環境の保全と向上を図っていきます。

②自宅改修などで排出される土砂・がれき類を受け入れていきます。この処分場は計算上15年ほどで許容範囲を上回ると想定されます。

理め立て後の土地利用は、粗大ごみの受け入れ先、災害発生時の廃棄物の仮置き場の利用を考えています。

新規の処分場の計画や用地取得は現在のところ予定はありません。

③本町の水道水は、いなべ市・桑名市に降った雨水などが地中に浸透し、本町の水道水の水源となっています。近隣市も地下水に依存していることから、広域的連帯および関係部署とのつながりを深め、財産としての水道資源を将来に残したいと考えています。

地域住民の皆さんにもPRの機会をつくり、水道水

源の環境保全の大切さを伝えていきます。

再質問（一問一答）

問

災害時の廃棄物仮置き場は、どのように考えていますか。

答

生活部長 廃棄物は

現在の緑地から約5m後退し、盛り土角度約26度で仮置きする予定です。



南部 豊



本町の将来展望は 国、県と連携していきます

問

8月11日に東海環状自動車道、東員IC

(インターチェンジ)が開通し、本町にとって、いろいろな効果が期待できます。

①都市計画道路の整備状況を伺います。

②農用地と町づくりとの共生は必要不可欠です。県との協議の進捗状況と頻度はどうですか。

答

町長 ①本町には東海環状自動車道を含め9路線の都市計画道路があります。順次進めていますが、整備が行われていない路線もあります。三重県の「都市計画道路見直しガイドライン」に基づき、役場庁舎の東側を通過する北大社笹尾長深線の見直しを行い、8月9日に三重県の決定を受けています。

②東員IC周辺や東員駅周辺地域の議論を2回行い、8月には東海農政局との協議も行っています。

再質問(一問一答)

問

「東員町都市計画マスタープラン」について伺います。

①都市計画に関する基礎調査は約5年ごととなっておりますが、今回なぜ8年も経過したのですか。

②流通機能を核とした土地利用が必要ですか。どんな施策をしましたか。

答

建設部長 ①今回大きく変える部分があり、しっかりとやっていきます。

②マスタープランの中で地区を決定し施策の実行をしていきます。県、東海農政局と検討します。

本町の農業政策は

問

農業政策は、担い手が見込めない今、どのような施策を考えていますか。また、町政懇談会で言われたトマト・柿栽培はどのようですか。

答

町長 本町には、現在個人、法人を含め28の認定農業者がいます。農作業の効率やコスト面での問題が生じており、農地中間管理機構による農地集約化の推進に取り組んでいます。

ます。成果としては、中上地区で一反区画となっている農地の畦畔除去などによる区画拡大を行うことなっています。

新しい、特徴のある作物を栽培し、六次産業化を図り、直売所や観光農園へと、企業と連携して行います。相手先は茨城県水戸市に本社を置いている企業です。

本町での農業活動では一般社団法人が行い、連携事業にかかる費用はこの法人の負担で行います。



水耕栽培でおいしいミニトマト

小中学校の統廃合は

慎重に検討します



山崎まゆみ

問

近年の少子化に伴い、城山小学校をはじめ、笹尾西小学校、笹尾東小学校、三和小学校、東員第二中学校で子どもの人数が減ってきました。人数が多い大規模校と少ない小規模校と比べると、それぞれ長所も短所もあります。

東員町教育委員会から諮

答

町長 ①最重要課題であり、国や県への

事業申請から最短でも3年から4年かかるため、財源確保も含めスピード感を持って進めていきます。

教育長 ②提言書の中で、城山・笹尾西・笹尾東小学校の3校の統合の目安は複式学級になるような学級規

問を受け「小中学校適正規

模適正配置検討委員会」が提言書をまとめられました。

①老朽化が著しい東員第一中学校の建て替えの計画はどうなっていますか。

②検討委員会からの提言を受け、小中学校の統廃合(適正規模適正配置)の方針はどうですか。

模予測の場合なので、ここ数年はその見通しはありません。

また、将来の3小学校の統合にあたりましては、東員第二中との「施設一体型小中一貫教育」を導入し、地域活性化のためにも先進的で魅力ある学校教育の構築を検討すべきという提言があります。地域の状況に配慮しながら慎重に検討していきます。

子どもの権利条例は

公募で集まった小・中学生25人の「子ども

委員」が中心となり、県内他市町に先駆けて作られた「みんなと一歩ずつ未来に向かっていく東員町子どもの権利条例」が施行されて1年3カ月経過しましたが、取り組み状況はいかがでしょうか。

答

教育長 「東員町子どもの権利委員会」

「いじめ問題調査委員会」などを設置し、学校では子ども主導で取り組む行事をします。

子どもの幸せを追求する責務は大人にあり、11月20日を「とういん子どもの権利の日」とし広めていきます。



子どもの笑顔は東員の宝

情報提供を最重要に 説明をし意見を聞きます



大崎潤子

問

町政懇談会で町長は「水道施設の老朽化に伴う改修などに、膨大な経費を必要とするので、水道料金の値上げに協力を願わなければならない」と説明しました。早速、町民の方から「水道料金値上げされるのですか」と問い合わせがありました。

東員町水道事業経営戦略案は、施設の老朽化や耐震化の状況、経営状況、将来の事業環境や財政計画などが示されています。今後はこれに沿って事業が展開されます。

一定の方向性が定まってきたので、情報の提供ではなく、過程を大事にした情報提供が最も大切だと考えます。なぜなら、町民にとっては年金が減り、社会保険料などは毎年引き上げられ生活が大変です。

また、県下で最も安価な水道料金だから余計に、町民に対する情報提供は欠か

すことはできません。次のことを伺います。

①水道事業経営戦略案の今後の進め方と、情報提供はどのようですか。

②料金改定に対する考え方を伺います。

答

建設部長 ①水道事業の経営環境は、人

口の減少や施設の更新、耐震化への対応など厳しいものと予想されるので案を策定しました。これをもとに施設・整備の更新計画、資金計画を策定します。最善の案ができたなら町民に説明し意見を聞きます。

②施設の整備費や管理費用は水道料金で賄うことが基本で、料金改定など行わず収入が増えないと、平成33年度に単年度で損失が発生します。

料金改定の手法は、現在の基本料金・超過料金の計算方法も含め、ゼロから料金体系の見直しも含めて作成中です。事務局案として

本年度中にまとめたいと考えています。

生ごみ対策は

問

新ごみ焼却施設は、人口が減少化時代の割には大きな施設と巨費となります。ごみ減量を正面から住民に訴え、協力を得ながら身の丈に合った施設を造るべきです。特に、水分の多い生ごみを減らす対策はどうですか。

答

生活部長 生ごみの堆肥化、生ごみの水の徹底を進めています。



耐震化だいじょうぶ

行政の順法規範は

公正な職務に努めます



山本陽一郎

問 昨年7月2日、この町で極めて重大な事件が摘発されました。

これは同年、4月に行われた町長選挙で当時、町の総務部長であり、選挙管理委員会の書記を務める幹部職員が、公職選挙法違反の罪で、罰金20万円と公民権停止3力年の実刑判決を受

けた誠に残念な事件です。

議員や町長も同じように、小さな自治体の選挙であっても、地域や家族を巻き込んでの命がけの挑戦であり、それは、この町が健全で公平・公正な法と公共秩序を旨とする行政運営を果たすために力を尽くしたいという思いからです。

とても大切で重要な選挙を統括する幹部職員が、未だ法のけじめが付かないままこの席にあります。町長の法と公共の秩序について見解を問います。

答

町長 公務員は、職務の公平・公正性、

政治的中立性の確保、信用失墜行為の禁止、秘密を守

る義務など、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、住民の皆さんの信頼を確保することが不可欠であり、すべての住民に対し、平等な取り扱いや公正な職務の執行をすることは当然のことであると考えます。

また、当該職員につきましては厳しい社会的制裁も受け、本人も強く反省をしていますので、お許しをいただきたいと思います。

再質問（一問一答）

問

本人が覚悟をもって出席されている、町長の言葉ではなく、自分の言葉で述べてください。

答

前選管書記 今回の事件につきましては、

私の不注意のために多くの皆さまに大変なご迷惑をおかけをいたしました。心からの反省とお詫びを申し上げます、合わせて今後につきましては二度とこのようなこ

とがないように真摯に努めてまいります。

公共施設の利用は

問

この社会は大変な高齢化社会となつていきます。この高齢者の健康管理はとても大事なことであり、と思っています。高齢者がさまざまな機会を通して、触れ合い支え合うために、町の公共施設の開放についての見解を聞きます。

答

町長 町の規定に基づいて、適正に判断をしていきます。



委員会活動レポート

議会改革を効果的に進めるために

石川県津幡町議会

研修日 7月15日

議会運営委員会

津幡町議会つばたまちで、議会改革、通年議会の視察研修をしました。

議会の招集権は、法律で町長が行うことになりましたが、平成24年地方自治法の改正により、議会の会期を1年とし、その間議会の判断が必要に依りて会議を開くことができる通年議会会期制度が可能となるよう改正されました。

津幡町議会では、議会が主導権を持ち、議会が常に活発に活動できることから、議員間の機運が高まり「議会改革特別委員会」を設置し、視察研修を行い、執行部と協議を重ね通年議会の試行期間を経て実施されています。

通年議会導入後、速やかな会議の開催と議案の事前審査の問題や専決処分がなくなり本会議で審議されています。定例会



議は定例会月の4日、臨時

会は毎月20日前後として
いるため、おおむね1年
間の議会日程が事前に立
てられるなど議会運営の
成果があるとのことでした。

通年議会を議会改革の
1つとして考え、今後も
東員町議会として調査・
研究を重ね協議を進めて
いきたいと思っております。

三重県鳥羽市議会

研修日 8月19日

議会全員協議会

議会基本条例

鳥羽市では、平成22年に議会基本条例を制定しています。条例制定以前から議会報告会や意見交換会を実施しています。当初は、市内18カ所ですの後は37カ所まで拡大し、市民に「議会の見える化」を6年間実施してきました。

先進的な取り組みも議会改革推進特別委員会を設置して、さまざまな改革が提案されて議論されてきました。中でも各議員が議会でタブレット端末を使用したり、議会中継のインターネット配信などが行われていました。

平成28年に入って、参加人数の減少や固定化、そして行政への要望が多くなってきたために、報告会のあり方を検討しています。5月からは通年会期制が導入されました。平成27年1月に「全国市議会議長会」の「議会のあり方研究会」が、本会議のICT化の取り組みを中心視察が行われたことにより、全国から注目されています。



委員会活動レポート

広島県呉市

研修日 6月28・29日

教育民生常任委員会

医療状況のデータベース化で 医療費の適正化を

呉市国民健康保険事業の取り組みを視察研修しました。

呉市では、高齢化により医療費が増大し、財政改善が課題となったために、国民健康保険加入者のレセプト（診療報酬明細書）のデータベース化を導入し、医療費の適正化に成功しています。

対策として、処方された医薬品や診療内容を把握・分析し、効果があるとされる場合は、シエネリック医薬品に切り替えるよう推進



し、薬剤費の削減に成果を挙げています。

また、保健師や看護師による「訪問指導」により過度の受診を抑制し、薬や重複受診者のチェックを行い、診療費も削減しています。

特に医療費が高くなる糖尿病性腎症を予防する保健事業に力を入れ「予防プログラム」で継続的アドバイス、研修会や料理教室など、

体調維持管理を行うことで支え合い、患者や家族が安心できる体制の取り組みをしていました。

呉市地域総合チーム医療を展開し、着実に成果を挙げていました。

健康づくりの推進が重要であることから、生活習慣病の重症化予防や医療費の適正化に努め、具体的に取組むことが必要です。

71回目の原爆の日を迎えた広島市「広島平和記念資料館」では、5月にオバマ大統領が訪問された時の「折り鶴」の展示を拝見しました。

平和記念公園では、犠牲者への冥福を祈りました。核兵器のない世界の実現を目指して、平和の尊さを訴え続ける重要性を強く感じました。



委員会活動レポート

長深地内の 耕作放棄地対策

栃木県栃木市・茨城県水戸市

研修日 8月30・31日

総務建設常任委員会



改善として経営陣の一新を図り、農業指導者を迎え入れたり、販路の拡大や社員教育に力を注ぎ、1年を通して「農業・福祉・観光」

栃木の「いわふねフルーツパーク」と水戸市の「APC農場」を視察研修しました。
「いわふねフルーツパーク」では、代表者から概要説明を受けました。開園当初は旧経営陣の無責任な取り組みや行政頼みの体質で、赤字経営となり、決して順風満帆ではなく、経営の立て直しを最優先課題としました。



の連携に取り組んだ結果、現在は決算も大幅に改善され順調に推移しています。

その後、栃木市役所を表敬訪問しました。

2日目は水戸市のAPC農場を視察しました。

2年前までは河川敷の耕作放棄地（6ha）であった竹やぶを開拓し、現在ではキャベツの栽培を行っています。

責任者の方は、土に合わせて作物を作るのではなく、作物にあった土壌数値

管理をすることが重要であり「勘に頼らない」との説明を受けました。

視察研修の総括として、東員町で実施される長深地内の畑地を現地視察しました。

東員町も以前から耕作放棄地対策には力を入れてきましたが、残念ながら良い結果は得られていませんでした。

今回私たちは、東員町として「いわふねフルーツパーク」の成功例を参考に



長深地内

「農業・福祉・観光連携のまちづくり」の取り組みに期待していきたいと思えます。

議会活動レポート

議会防災訓練を実施

9月4日に東員町議会にて防災訓練を行いました。「東員町議会災害対策本部設置要綱」に基づいて、災害時議員行動マニュアルを確認しました。

東海地方を震源とする地震を想定し、議会対策本部を設置。①議員全員の安否②居場所の確認③周辺の被災状況を報告しました。



その後、対策本部に集合し、避難所（稲部小学校）までの被害状況の確認と模擬調査を行いました。
最後には、本部長（議長）から防災訓練の総括で、議会としての役割を各議員に再度確認し、普段から万が一の事態に備えるよう訓示を受けました。

追跡

あの質問はどうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

こうなりました



宅地開発(13区画)が始まりました。

定住促進の施策は

Q

旧笹尾第一保育園跡地利用はどうしますか。
(平成27年9月議会)

A

旧跡地にはストックヤードがあり、移設完了後に売却します。
若者が定住することを期待しています。

議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。

よく読んで答えてください。

問1 平成28年第4回定例会で賛否の分かれた議案数は。

問2 一般質問した議員は何人でしょう。

問3 議会防災訓練を実施した日は何月何日でしょう。

▼応募方法／官製はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、また議会へのご意見、ご感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

▼あて先／〒五一一〇二一九五
東員町山田一六〇〇番地
東員町議会事務局
締切り／平成28年11月30日
(当日消印有効)

※正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

※ご記入いただきました個人情報については、賞品発送および読者の声などの目的以外には一切使用いたしません。ただし、行政側に対するご意見・ご質問などの場合は、その内容に応じ、担当課から報告または回答をさせていただきます。

まちの話題

絵と粘土のコラボを夢みて

「粘土で造花や額絵」の記事を読み、奥田とも子さんを訪ねました。

「造形や絵が大好きで粘土工芸を始めたの。総合文化センターオープン時には、公民館講座で粘土工芸教室の講師を勤めましたが、今は自宅で教室を開いています。皆さんから感想をいただくことで、さらにより良い作品を誕生させたいです」と語っていただきました。



奥田とも子さん(笹尾東一丁目)

皆さんの声を聞かせてください

読みやすく分かりやすい「議会だより」の作成に心掛けています。皆さんが読まれてどう思われますか、どう感じますか。ご意見、ご感想をお聞かせください。

次回の定例会は
平成28年12月1日に開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

議会広報常任委員会

委員長／川瀬 孝代
副委員長／石垣 智矢
委員／片松 雅弘・三林 浩
山崎まゆみ・大崎 潤子

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。

また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。